

新ひだか町立病院コラム Vol. 17

地域連携室を紹介します。

現在、地域連携室には看護師1名、社会福祉士2名が配属されています。

地域連携室では「他医療機関との予約調整や転院調整」「今後の介護や生活についてのご相談」などを受けており、当院を利用される患者さまとご家族に代わり、当室職員が医療機関や介護事業所の間をつなぐパイプ役を担っています。

例えば、都市部の大きな病院へ受診することになった場合・・・ひと昔前までは、自分たちで苫小牧市などの医療機関を探し、受診することが一般的でした。現在では、よりスムーズな受診を行えるよう、患者さまの情報提供など「紹介状」を持参した受診が一般的となっています。

「紹介状」の作成については、医師が行いますが、その先の医療機関の予約調整は「地域連携室」が行っていますので、患者さま・そのご家族の負担は昔と大きく違ってきます。

このことから、現在は地域（地元）の医療機関へ受診し、高度な治療や医療が必要となる場合・もっと詳しい検査が必要となった場合は「紹介状」を医師が作成し、地域連携室が患者さまの予定に合わせ、予約調整を行います。

紹介状を持参せずに受診をすると、「情報の共有が図れていない」「初診料が高い」などのデメリットもありますので、地域連携は現在の診療情勢において重要な部署となっています。

また、受診をし「入院」となった後の「転院」や「退院調整」も重要な役割の一つです。近年では、「入院治療は終わったがまだ自宅に戻る体力に自信がない」「一度、地元の病院に戻り、介護サービスを整えてから退院したい」といった相談が多くあります。

これらの要望に対し、地域連携室では「入院前と同様の生活が送れる状態なのか」「お薬の管理や住宅環境に心配な点はあるか」など、入院中の状態やご家族の皆さまから情報を募り、地域のケアマネジャーや多職種との連携を図り、入院後も安心して生活出来る環境作りの相談も受け付けています。入院はしていなくても、今後の生活に不安を抱えている方へのサポートも行っています。

ご相談は無料ですので、気になることや心配事がありましたら、気軽にお越しください。

地域連携室は町立静内病院 1階の婦人科横にあります。

院長のつぶやき

院長の小松です。地域連携室の役割というと、他の医療機関との連携や入退院の調整が主な役割と言われていますが、医療機関だけでなく、介護施設や行政・福祉施設など、様々な分野との連携も求められています。

地域連携室は、その立ち位置から、患者さまと密接に関係する窓口の様な役割を持っていて、患者さまの適切な受診環境の構築や、患者さまの「元の生活に戻りたい」という願いを叶えるためのサポートを行っています。医療・介護・福祉施設等が連携し合い、話し合いのみならず、研修会や勉強会を通じて各々の連携を強化し、患者さまの願いを叶えることにやりがいを感じるスタッフも多くなります。

私がこの病院に赴任した時は、患者さまの入退院調整や転院先の確保・判断（自宅退院なのか施設入所なのか）は医師もしくは看護師が行っていました。そのためまず取り組んだこととして、地域の連携の柱となる医療ソーシャルワーカーを院内に置くことでした。当時は入退院調整が主な業務でしたが、平成29年2月に地域連携室が創設され、先に述べた様な多岐にわたる業務や連携を行っています。大事なのは患者さまやご家族に寄り添った細かな支援をすることです。スタッフも親身に相談に乗ってくださるので、気軽に尋ねてください。

作成：新ひだか町立病院

❀ 町立静内病院 0146-42-0181 (代表)

新ひだか町静内緑町4丁目5番1号

❀ 三石国保病院 0146-33-2231 (代表)

新ひだか町三石本町214番地